

MAP 1 彫像が語りかける
北浦和公園

公園は昭和49年(1974)開園。県立近代美術館は昭和57年(1982)開館。春の息吹を満喫するように咲き誇る桜花、夏の日差しをうけ濃さを増す深緑の園内、秋の紅葉黄葉が織り成す錦の中でたえず彫刻たち。園内には「たなばたさま」の作曲者、下総院一の石碑もあり、広場では、四季折々にさまざまな催しが開かれ、噴水広場では、



メロディに合せ色彩を変え、涼しげに舞う音楽噴水が見るものを魅了します。

MAP 2 青春の想いが伝わる
浦和北公園

北浦和公園に隣接する園内には、旧制浦和高等学校ゆかりの門柱や「学生」(バンカラ像)が昔日の姿を伝え、中国孔子廟伝来の楷木が枝を上げます。築山と池をめぐる日本庭園には家族連れが散策し、テニスコートではシルバー世代の元気な姿が見られます。

浦和伝統文化館「恭慶館」は、渋沢栄一が命名した公会堂の名を受け継いだ建物です。

MAP 3 四季の風薫る
常盤緑道

常盤3・9丁目に源を発し、常盤6〜8丁目、仲町4丁目を流れ、別所沼から南区へ流れる水路。かつて清ヶ谷と呼ばれ、氾濫を繰り返していましたが、昭和9年(1934)に完了した耕地整理事業と共に整備されました。現在は暗渠となり、住宅街の長閑な散策路として親しまれています。

MAP 4 清らかな神光灯す
キリシタン灯籠

カトリック浦和教会の敷地内に、織部型石灯籠があります。茶人「古田織部」の創意によると伝えられる灯籠で、竿の部分が十字架のように膨らみ、地藏信仰に似せたキリシタンの尊像が浮彫されていることから、通称キリシタン灯籠とも呼ばれます。

※教会の敷地です。信仰の迷惑にならぬよう注意しましょう。

MAP 5 レッズな街の原点
埼玉サッカー発祥の地碑

島田忠恵作・鈴木国平デザインのモニュメントは、明治41年(1908)この地にあった埼玉県師範学校(現埼玉大学)の細木志朗教諭が、蹴球部をつくり多くの指導者を育て、県内にサッカーを普及・発展させたことを記念し建立されました。

市民広場には、「トルーカの鐘」(いたど)を戴くギャラリーや水の流れる段床などもあり、訪れる人の憩いの場となっています。

常盤・仲町
界隈を
歩く約
4.1
km

JR北浦和駅西口を起点に、常盤・仲町界隈を散策します。

浦和区西部の小さな自然や彩の風景、彫刻と音楽が饗宴する空間、

そして浦和絵描きの足跡などを探訪してみませんか。

季節のうつろいの中で、さまざまに変化する彫刻たち。

行く先々で出会う懐かしい街角を堪能するコースです。

初版発行日…平成22年(2010)3月

編集・発行…浦和区文化の小径づくり推進委員会



1 浦和北公園

2 北浦和公園

3 市役所前の市民広場のもくれん

令和6年(2024)9月改訂

MAP 6 鹿島台の学び舎
浦中記念碑

「ここに浦中ありき」の石碑は、明治28年(1895)に開校した埼玉県第一尋常中学校(後に浦和中学校に改称)の足跡を示します。現在の県立浦和高等学校発祥の地です。

MAP 7 くらしっくな回廊
裏門通り

中山道・玉蔵院脇から県庁へ抜ける通り。県庁へ向かう表門通りに対して、大きな門と職員官舎が建っていたため名付けられました。通りの家並みは、古い浦和の面影を残しています。



▲裏門通り

MAP 8 武骨とおちゃめ
浦和駅前の彫刻

滝川毘堂作「武者群像」は、武蔵野を開拓し清廉な資性と信義を重んじた先人達の思いを力強く現代へ伝えていきます。やなせたかし作「浦和うなこちゃん」は、さいたま市の伝統産業に指定されている「浦和のうなぎ」をPRする、さいたま市の観光大使です。

▼浦和うなこちゃんの石像



まちかど彫刻の紹介

- 1 ゆあみ(大) No.7 / エミリオ・グレコ 作
- 2 風の中で / 西野 康造 作
- 3 横たわる人物 / フェルナンド・ボテロ 作
- 4 Cycle 90° / 松本 薫 作
- 5 流水の門 / 橋本 省 作
- 6 道標 鳩 / 柳原 義達 作
- 7 風の中の鴉 / 柳原 義達 作
- 8 ゆっくりと起き上がる精神の集積 / 高岡 典男 作
- 9 風景の外側 / 重村 三雄 作
- 10 ドッキング(表面) No.86-1985 / 田中 米吉 作
- 11 果実の中の木もれ陽 / 橋本 真之 作
- 12 天空へのメッセージ / 湯村 光 作
- 13 子午線-1993 / サトル・タカダ 作
- 14 這うものたちの午後6時の眠り / 山本 信 作
- 15 中銀カプセルタワービル・住宅カプセル / 黒川 紀章 作
- 16 目に見える表面の下に / ディオゲネス・ファッリ 作
- 17 学生(バンカラ像) / 柳原 義達 作
- 18 埼玉サッカー発祥の地碑 / 島田 忠恵(デザイン鈴木国平) 作
- 19 長沼依山童話碑 / 細野 稔人 作
- 20 渚 / 中野 四郎 作
- 21 飛翔 / 長谷川 栄 作
- 22 リボンの少女 / 細野 稔人 作
- 23 重力環-赤 / うらわ / 内田 晴之 作
- 24 珠 / 多田 美波 作
- 25 春の譜 / 細野 稔人 作
- 26 武者群像 / 滝川 毘堂 作
- 27 飛翔 / 吉野 康彦・岩田 健・細野 稔人 作

鹿島台アトリエ村

～鎌倉文士に浦和絵描き～

鹿島台は県庁南側にあった鹿島宮に由来し、大正期の新たな街づくりで誕生した地名です。昭和9年(1934)に完了した耕地整理事業で、整然とした街並みが完成。昭和初期からは、有名画家等が安住の地として移り住み、「鎌倉文士に浦和絵描き」と言われました。